

項目コード	検査項目	検体量 (mL)	容器	保存 (安定性)	所要日数	実施料 判断料	検査方法	基準値(単位)	提出条件・備考	検査目的および異常値を示す主な疾患名
抗体検査	3004 アデノウイルス <small>5F150-1430-023-141-05 5F150-1430-041-141-05</small>	血清0.2 <small>速やかに遠心</small>	1	冷蔵	4~6	① 79 免疫	CF法 (補体結合反応)	4未満 <small>倍</small>	下記参照 (*CF) ※02	急性咽頭炎 上気道炎 肺炎 流行性角結膜炎 下痢症 急性出血性膀胱炎
		髄液0.4 <small>速やかに遠心</small>	2	冷蔵				1未満 <small>倍</small>		
	3069 アデノウイルス1型 <small>5F151-1430-023-151-05</small>	血清0.2 または 髄液0.4	1・2	冷蔵	8~14		血清:4未満 髄液:1未満 <small>倍</small>	下記参照 (*NT)		
	3070 アデノウイルス2型 <small>5F152-1430-023-151-05</small>	血清0.2 または 髄液0.4	1・2	冷蔵	8~14		血清:4未満 髄液:1未満 <small>倍</small>			
	3071 アデノウイルス3型 <small>5F153-1430-023-151-05</small>	血清0.2 または 髄液0.4	1・2	冷蔵	8~14		血清:4未満 髄液:1未満 <small>倍</small>			
	3072 アデノウイルス4型 <small>5F154-1430-023-151-05</small>	血清0.2 または 髄液0.4	1・2	冷蔵	8~14		血清:4未満 髄液:1未満 <small>倍</small>			
	3073 アデノウイルス5型 <small>5F155-1430-023-151-05</small>	血清0.2 または 髄液0.4	1・2	冷蔵	8~14		血清:4未満 髄液:1未満 <small>倍</small>			
	3074 アデノウイルス6型 <small>5F156-1430-023-151-05</small>	血清0.2 または 髄液0.4	1・2	冷蔵	8~14		血清:4未満 髄液:1未満 <small>倍</small>			
	3075 アデノウイルス7型 <small>5F157-1430-023-151-05</small>	血清0.2 または 髄液0.4	1・2	冷蔵	8~14		血清:4未満 髄液:1未満 <small>倍</small>			
	3076 アデノウイルス8型 <small>5F158-1430-023-151-05</small>	血清0.2 または 髄液0.4	1・2	冷蔵	8~14		血清:4未満 髄液:1未満 <small>倍</small>			
	1132 アデノウイルス11型 <small>5F161-1430-023-151-05</small>	血清0.2 または 髄液0.4	1・2	冷蔵	8~14		血清:4未満 髄液:1未満 <small>倍</small>			
	3077 アデノウイルス19型 <small>5F169-1430-023-151-05</small>	血清0.2 または 髄液0.4	1・2	冷蔵	8~14		血清:4未満 髄液:1未満 <small>倍</small>			
	アデノウイルス21型 <small>5F171-1430-023-151-05</small>	血清0.2 または 髄液0.4	1・2	冷蔵	8~14		血清:4未満 髄液:1未満 <small>倍</small>			
	1133 アデノウイルス37型 <small>5F177-1430-023-151-05</small>	血清0.2 または 髄液0.4	1・2	冷蔵	8~14		血清:4未満 髄液:1未満 <small>倍</small>	※02		

① ウイルス抗体価 (定性・半定量・定量) (76ページ参照)

*CF (補体結合反応) : 補体結合反応におきましては抗補体作用がみられ、測定不能になる場合がありますので、抗凝固剤を入れずに採血して速やかに血清分離し凍結保存してください。

出発希釈 血清4倍 髄液1倍

*NT (中和反応) : 細菌繁殖などにより細胞が汚染され、測定不能になる場合がありますのでご注意ください。

出発希釈 血清4倍 髄液1倍

依頼方法および結果解釈

測定値は病状との関連で変動しますので、必ず急性期 (発病後早期) および回復期 (発病後2~3週間) の血清をペアで依頼してください。なお、急性期と回復期を同時に測定し抗体価が4倍 (2管差) 以上の上昇が見られる場合は血清学的に有意とみなします。



項目コード	検査項目	検体量 (mL)	容器	保存 (安定性)	所要日数	実施料判断料	検査方法	基準値(単位)	備考	検査目的および異常値を示す主な疾患名	
抗体検査	3037 インフルエンザウイルス A型 (H1N1) (H3N2) 5F400-1430-023-111-05	血清0.2 または 髄液0.4	1・2	冷蔵	4~6	①② 79 免疫	HI法 (赤血球凝集抑制反応)	血清:10未満 髄液:10未満	倍 検査結果はWHO方式の血清希釈倍数で表示しています ※02	流行性感冒 (急性呼吸器感染症)	
	3001 インフルエンザウイルス A型 5F400-1430-023-141-05	血清0.2 または 髄液0.4 速やかに遠心	1・2	冷蔵			CF法 (補体結合反応)	血清:4未満 髄液:1未満	倍 下記参照 (*CF法) ※02		
	3231 インフルエンザウイルス B-1 (山形系統) B-2 (ヒノカワ系統) 5F410-1430-023-111-05	血清0.2 または 髄液0.4	1・2	冷蔵			HI法 (赤血球凝集抑制反応)	血清:10未満 髄液:10未満	倍 検査結果はWHO方式の血清希釈倍数で表示しています ※02		
	3002 インフルエンザウイルス B型 5F410-1430-023-141-05	血清0.2 または 髄液0.4 速やかに遠心	1・2	冷蔵	CF法 (補体結合反応)	血清:4未満 髄液:1未満	倍 下記参照 (*CF法) ※02				
	3033 パラインフルエンザウイルス 1型 5F421-1430-023-111-05				① 79 免疫	HI法 (赤血球凝集抑制反応)	血清:10未満 髄液:10未満	倍 検査結果はWHO方式の血清希釈倍数で表示しています ※02	上気道炎 気管支炎 肺炎		
	3034 パラインフルエンザウイルス 2型 5F422-1430-023-111-05	血清各0.2 または 髄液各0.4	1・2	冷蔵	① 79 免疫						
	3035 パラインフルエンザウイルス 3型 5F423-1430-023-111-05				① 79 免疫						
	3020 RSウイルス 5F430-1430-023-141-05	血清0.2 または 髄液0.4 速やかに遠心	1・2	冷蔵	4~6	① 79 免疫	CF法 (補体結合反応)	血清:4未満 髄液:1未満	倍 下記参照 (*CF法) ※02		
	3040 RSウイルス 5F430-1430-023-151-05	血清0.2 または 髄液0.4	1・2	冷蔵	8~12		NT法 (中和反応)		倍 下記参照 (*NT法) ※02		

①ウイルス抗体価 (定性・半定量・定量) (76ページ参照)

②インフルエンザウイルス抗原定性とウイルス抗体価 (定性・半定量・定量) のインフルエンザウイルスA型若しくはインフルエンザウイルスB型又はノイラミダーゼ定性を併せて実施した場合は、1項目として数える。

*CF法 (補体結合反応): 補体結合反応におきましては抗補体作用がみられ、測定不能になる場合がありますので、抗凝固剤を入れずに採血して速やかに血清分離し冷蔵保存してください。

出発希釈 血清4倍 髄液1倍

*NT法 (中和反応): 細菌繁殖などにより細胞が汚染され、測定不能になる場合がありますのでご注意ください。

出発希釈 血清4倍 髄液1倍



項目コード	検査項目	検体量 (mL)	容器	保存 (安定性)	所要日数	実施料判断料	検査方法	基準値(単位)	提出条件・備考	検査目的および異常値を示す主な疾患名
3057	エコーウイルス 1型 5F311-1430-023-151-05	血清各0.2 または 髄液各0.4	1・2	冷蔵	8~12	① 79 免疫	NT法 (中和反応)	血清:4未満 髄液:1未満 倍	下記参照(*NT法) ※02	無菌性髄膜炎 中枢神経疾患 上気道炎 発疹 麻疹 心嚢炎 心筋炎 ヘルパンギーナ 筋痛症 気道疾患 肝炎
3058	エコーウイルス 3型 5F313-1430-023-151-05	血清各0.2 または 髄液各0.4	1・2	冷蔵	8~12		NT法 (中和反応)	血清:4未満 髄液:1未満 倍	下記参照(*NT法) ※02	
3027	エコーウイルス 3型 5F313-1430-023-111-05	血清各0.2 または 髄液各0.4	1・2	冷蔵	4~6		HI法 (赤血球凝集抑制反応)	血清:8未満 髄液:8未満 倍	出発希釈 血清8倍 髄液8倍 ※02	
3059	エコーウイルス 4型 5F314-1430-023-151-05	血清各0.2 または 髄液各0.4	1・2	冷蔵	8~12		NT法 (中和反応)	血清:4未満 髄液:1未満 倍	下記参照(*NT法) ※02	
5325	エコーウイルス 5型 5F315-1430-023-151-05	血清各0.2 または 髄液各0.4	1・2	冷蔵	8~14		NT法 (中和反応)	血清:4未満 髄液:1未満 倍	下記参照(*NT法) ※02	
3060	エコーウイルス 6型 5F316-1430-023-151-05	血清各0.2 または 髄液各0.4	1・2	冷蔵	8~12		NT法 (中和反応)	血清:4未満 髄液:1未満 倍	下記参照(*NT法) ※02	
3061	エコーウイルス 7型 5F317-1430-023-151-05	血清各0.2 または 髄液各0.4	1・2	冷蔵	8~12		NT法 (中和反応)	血清:4未満 髄液:1未満 倍	下記参照(*NT法) ※02	
3028	エコーウイルス 7型 5F317-1430-023-111-05	血清各0.2 または 髄液各0.4	1・2	冷蔵	4~6		HI法 (赤血球凝集抑制反応)	血清:8未満 髄液:8未満 倍	出発希釈 血清8倍 髄液8倍 ※02	
3062	エコーウイルス 9型 5F319-1430-023-151-05	血清各0.2 または 髄液各0.4	1・2	冷蔵	8~12		NT法 (中和反応)	血清:4未満 髄液:1未満 倍	下記参照(*NT法) ※02	
5326	エコーウイルス 11型 5F321-1430-023-151-05	血清各0.2 または 髄液各0.4	1・2	冷蔵	8~14		NT法 (中和反応)	血清:4未満 髄液:1未満 倍	下記参照(*NT法) ※02	
3029	エコーウイルス 11型 5F321-1430-023-111-05	血清各0.2 または 髄液各0.4	1・2	冷蔵	4~6		HI法 (赤血球凝集抑制反応)	血清:8未満 髄液:8未満 倍	出発希釈 血清8倍 髄液8倍 ※02	
5327	エコーウイルス 12型 5F322-1430-023-151-05	血清各0.2 または 髄液各0.4	1・2	冷蔵	8~14		NT法 (中和反応)	血清:4未満 髄液:1未満 倍	下記参照(*NT法) ※02	
3030	エコーウイルス 12型 5F322-1430-023-111-05	血清各0.2 または 髄液各0.4	1・2	冷蔵	4~6		HI法 (赤血球凝集抑制反応)	血清:8未満 髄液:8未満 倍	出発希釈 血清8倍 髄液8倍 ※02	
3063	エコーウイルス 13型 5F323-1430-023-151-05	血清各0.2 または 髄液各0.4	1・2	冷蔵	8~12		NT法 (中和反応)	血清:4未満 髄液:1未満 倍	下記参照(*NT法) ※02	
4711	エコーウイルス 14型 5F324-1430-023-151-05	血清各0.2 または 髄液各0.4	1・2	冷蔵	8~14		NT法 (中和反応)	血清:4未満 髄液:1未満 倍	下記参照(*NT法) ※02	
5329	エコーウイルス 16型 5F326-1430-023-151-05	血清各0.2 または 髄液各0.4	1・2	冷蔵	8~12		NT法 (中和反応)	血清:4未満 髄液:1未満 倍	下記参照(*NT法) ※02	
3064	エコーウイルス 17型 5F327-1430-023-151-05	血清各0.2 または 髄液各0.4	1・2	冷蔵	8~12		NT法 (中和反応)	血清:4未満 髄液:1未満 倍	下記参照(*NT法) ※02	
5330	エコーウイルス 18型 5F328-1430-023-151-05	血清各0.2 または 髄液各0.4	1・2	冷蔵	8~12		NT法 (中和反応)	血清:4未満 髄液:1未満 倍	下記参照(*NT法) ※02	
4712	エコーウイルス 19型 5F329-1430-023-151-05	血清各0.2 または 髄液各0.4	1・2	冷蔵	8~14		NT法 (中和反応)	血清:4未満 髄液:1未満 倍	下記参照(*NT法) ※02	
4713	エコーウイルス 21型 5F331-1430-023-151-05	血清各0.2 または 髄液各0.4	1・2	冷蔵	8~14		NT法 (中和反応)	血清:4未満 髄液:1未満 倍	下記参照(*NT法) ※02	
4644	エコーウイルス (パレコウイルス型) 22型 5F332-1430-023-151-05	血清各0.2 または 髄液各0.4	1・2	冷蔵	8~14	NT法 (中和反応)	血清:4未満 髄液:1未満 倍	下記参照(*NT法) ※02		
4714	エコーウイルス 24型 5F334-1430-023-151-05	血清各0.2 または 髄液各0.4	1・2	冷蔵	8~14	NT法 (中和反応)	血清:4未満 髄液:1未満 倍	下記参照(*NT法) ※02		
3065	エコーウイルス 25型 5F335-1430-023-151-05	血清各0.2 または 髄液各0.4	1・2	冷蔵	8~12	NT法 (中和反応)	血清:4未満 髄液:1未満 倍	下記参照(*NT法) ※02		
3066	エコーウイルス 30型 5F340-1430-023-151-05	血清各0.2 または 髄液各0.4	1・2	冷蔵	8~12	NT法 (中和反応)	血清:4未満 髄液:1未満 倍	下記参照(*NT法) ※02		

①ウイルス抗体価(定性・半定量・定量)(76ページ参照)

*NT法(中和反応):細菌繁殖などにより細胞が汚染され、測定不能になる場合がありますのでご注意ください。
出発希釈 血清4倍 髄液1倍



項目コード	検査項目	検体量 (mL)	容器	保存 (安定性)	所要日数	実施料判断	検査方法	基準値(単位)	備考	検査目的および異常値を示す主な疾患名	
1128	コクサッキーウイルス A群2型 5F282-1430-023-151-05	血清各0.2 または 髄液各0.4	1・2	冷蔵	8~14	① 79 免疫	NT法 (中和反応)	血清:4未満 髄液:1未満	倍 下記参照 (*NT法) ※02	ヘルパンギーナ (A群) 急性リンパ(結節性)髄膜炎 (A群10型) 無菌性髄膜炎 手足口病 (A群10,16型)	
1129	コクサッキーウイルス A群3型 5F283-1430-023-151-05	血清各0.2 または 髄液各0.4	1・2	冷蔵	8~14		NT法 (中和反応)	血清:4未満 髄液:1未満	倍 下記参照 (*NT法) ※02		
5318	コクサッキーウイルス A群4型 5F284-1430-023-151-05	血清各0.2 または 髄液各0.4	1・2	冷蔵	8~14		NT法 (中和反応)	血清:4未満 髄液:1未満	倍 下記参照 (*NT法) ※02		
5523	コクサッキーウイルス A群5型 5F285-1430-023-151-05	血清各0.2 または 髄液各0.4	1・2	冷蔵	8~14		NT法 (中和反応)	血清:4未満 髄液:1未満	倍 下記参照 (*NT法) ※02		
4642	コクサッキーウイルス A群6型 5F286-1430-023-151-05	血清各0.2 または 髄液各0.4	1・2	冷蔵	8~14		NT法 (中和反応)	血清:4未満 髄液:1未満	倍 下記参照 (*NT法) ※02		
3048	コクサッキーウイルス A群7型 5F287-1430-023-151-05	血清各0.2 または 髄液各0.4	1・2	冷蔵	8~14		NT法 (中和反応)	血清:4未満 髄液:1未満	倍 下記参照 (*NT法) ※02		
3049	コクサッキーウイルス A群9型 5F289-1430-023-151-05	血清各0.2 または 髄液各0.4	1・2	冷蔵	8~14		NT法 (中和反応)	血清:4未満 髄液:1未満	倍 下記参照 (*NT法) ※02		
3013	コクサッキーウイルス A群9型 5F289-1430-023-141-05	血清各0.2 または 髄液各0.4 速やかに遠心	1・2	冷蔵	4~6		CF法 (補体結合反応)	血清:4未満 髄液:1未満	倍 下記参照 (*CF法) ※02		
1130	コクサッキーウイルス A群10型 5F290-1430-023-151-05	血清各0.2 または 髄液各0.4	1・2	冷蔵	8~14		NT法 (中和反応)	血清:4未満 髄液:1未満	倍 下記参照 (*NT法) ※02		
3050	コクサッキーウイルス A群16型 5F296-1430-023-151-05	血清各0.2 または 髄液各0.4	1・2	冷蔵	8~14		NT法 (中和反応)	血清:4未満 髄液:1未満	倍 下記参照 (*NT法) ※02		
3051	コクサッキーウイルス B群1型 5F301-1430-023-151-05	血清各0.2 または 髄液各0.4	1・2	冷蔵	8~14		NT法 (中和反応)	血清:4未満 髄液:1未満	倍 下記参照 (*NT法) ※02		夏かぜ症候群 無菌性髄膜炎 麻痺 気道性疾患 心筋炎 熱性疾患
3014	コクサッキーウイルス B群1型 5F301-1430-023-141-05	血清各0.2 または 髄液各0.4 速やかに遠心	1・2	冷蔵	4~6		CF法 (補体結合反応)	血清:4未満 髄液:1未満	倍 下記参照 (*CF法) ※02		
3052	コクサッキーウイルス B群2型 5F302-1430-023-151-05	血清各0.2 または 髄液各0.4	1・2	冷蔵	8~14		NT法 (中和反応)	血清:4未満 髄液:1未満	倍 下記参照 (*NT法) ※02		
3015	コクサッキーウイルス B群2型 5F302-1430-023-141-05	血清各0.2 または 髄液各0.4 速やかに遠心	1・2	冷蔵	4~6		CF法 (補体結合反応)	血清:4未満 髄液:1未満	倍 下記参照 (*CF法) ※02		
3053	コクサッキーウイルス B群3型 5F303-1430-023-151-05	血清各0.2 または 髄液各0.4	1・2	冷蔵	8~14		NT法 (中和反応)	血清:4未満 髄液:1未満	倍 下記参照 (*NT法) ※02		
3016	コクサッキーウイルス B群3型 5F303-1430-023-141-05	血清各0.2 または 髄液各0.4 速やかに遠心	1・2	冷蔵	4~6		CF法 (補体結合反応)	血清:4未満 髄液:1未満	倍 下記参照 (*CF法) ※02		

①ウイルス抗体価(定性・半定量・定量)(76ページ参照)

*CF法(補体結合反応): 補体結合反応におきましては抗補体作用がみられ、測定不能になる場合がありますので、抗凝固剤を入れずに採血して速やかに血清分離し冷蔵保存してください。

出発希釈 血清4倍 髄液1倍

*NT法(中和反応): 細菌繁殖などにより細胞が汚染され、測定不能になる場合がありますのでご注意ください。

出発希釈 血清4倍 髄液1倍



項目コード	検査項目	検体量 (mL)	容器	保存 (安定性)	所要日数	実施料判断料	検査方法	基準値(単位)	備考	検査目的および異常値を示す主な疾患名	
抗体検査	3054 コクサッキーウイルス B群4型 5F304-1430-023-151-05	血清0.2 または 髄液0.4	1・2	冷蔵	8~14	① 79 免疫	NT法 (中和反応)	血清:4未満 髄液:1未満	倍 下記参照(*NT法) ※02		
	3017 コクサッキーウイルス B群4型 5F304-1430-023-141-05	血清0.2 または 髄液0.4 速やかに遠心	1・2	冷蔵	4~6		CF法 (補体結合反応)	血清:4未満 髄液:1未満	倍 下記参照(*CF法) ※02		
	3055 コクサッキーウイルス B群5型 5F305-1430-023-151-05	血清0.2 または 髄液0.4	1・2	冷蔵	8~14		NT法 (中和反応)	血清:4未満 髄液:1未満	倍 下記参照(*NT法) ※02		
	3018 コクサッキーウイルス B群5型 5F305-1430-023-141-05	血清0.2 または 髄液0.4 速やかに遠心	1・2	冷蔵	4~6		CF法 (補体結合反応)	血清:4未満 髄液:1未満	倍 下記参照(*CF法) ※02		
	3056 コクサッキーウイルス B群6型 5F306-1430-023-151-05	血清0.2 または 髄液0.4	1・2	冷蔵	8~14		NT法 (中和反応)	血清:4未満 髄液:1未満	倍 下記参照(*NT法) ※02		
	3019 コクサッキーウイルス B群6型 5F306-1430-023-141-05	血清0.2 または 髄液0.4 速やかに遠心	1・2	冷蔵	4~6		CF法 (補体結合反応)	血清:4未満 髄液:1未満	倍 下記参照(*CF法) ※02		
	1428 エンテロウイルス 70型 5F270-1430-023-151-05	血清0.2 または 髄液0.4	1・2	冷蔵	7~13		NT法 (中和反応)	血清:4未満 髄液:1未満	倍 下記参照(*NT法) ※02		急性出血性結膜炎
	3068 エンテロウイルス 71型 5F271-1430-023-151-05	血清0.2 または 髄液0.4	1・2	冷蔵	7~13		NT法 (中和反応)	血清:4未満 髄液:1未満	倍 下記参照(*NT法) ※02		手足口病
	3045 ポリオウイルス 1型 5F251-1430-023-151-05	血清0.2 または 髄液0.4	1・2	冷蔵	8~14	① 79 免疫	NT法 (中和反応)	血清:4未満 髄液:1未満	倍 下記参照(*NT法) ※02		急性灰白髄炎 (ポリオ)
	3007 ポリオウイルス 1型 5F251-1430-023-141-05	血清0.2 または 髄液0.4 速やかに遠心	1・2	冷蔵	4~6		CF法 (補体結合反応)	血清:4未満 髄液:1未満	倍 下記参照(*CF法) ※02		
	3046 ポリオウイルス 2型 5F252-1430-023-151-05	血清0.2 または 髄液0.4	1・2	冷蔵	8~14	① 79 免疫	NT法 (中和反応)	血清:4未満 髄液:1未満	倍 下記参照(*NT法) ※02		
	3008 ポリオウイルス 2型 5F252-1430-023-141-05	血清0.2 または 髄液0.4 速やかに遠心	1・2	冷蔵	4~6		CF法 (補体結合反応)	血清:4未満 髄液:1未満	倍 下記参照(*CF法) ※02		
3047 ポリオウイルス 3型 5F253-1430-023-151-05	血清0.2 または 髄液0.4	1・2	冷蔵	8~14	① 79 免疫	NT法 (中和反応)	血清:4未満 髄液:1未満	倍 下記参照(*NT法) ※02			
3009 ポリオウイルス 3型 5F253-1430-023-141-05	血清0.2 または 髄液0.4 速やかに遠心	1・2	冷蔵	4~6		CF法 (補体結合反応)	血清:4未満 髄液:1未満	倍 下記参照(*CF法) ※02			

①ウイルス抗体価(定性・半定量・定量)(76ページ参照)

*CF法(補体結合反応):補体結合反応におきましては抗補体作用がみられ、測定不能になる場合がありますので、抗凝固剤を入れずに採血して速やかに血清分離し冷蔵保存してください。

出発希釈 血清4倍 髄液1倍

*NT法(中和反応):細菌繁殖などにより細胞が汚染され、測定不能になる場合がありますのでご注意ください。

出発希釈 血清4倍 髄液1倍



項目コード	検査項目	検体量 (mL)	容器	保存 (安定性)	所要日数	実施料判断料	検査方法	基準値(単位)	備考	検査目的および異常値を示す主な疾患名
3024	日本脳炎ウイルス (JaGAr株) 5F385-1430-023-111-52	血清0.2 または 髄液0.4	1・2	冷蔵	5~11	① 79 免疫	HI法 (赤血球凝集抑制反応)	血清:10未満 髄液:1未満	倍 出発希釈 血清10倍 髄液 1倍 ※01	日本脳炎
3010	日本脳炎ウイルス 5F385-1430-023-141-05	血清0.2 または 髄液0.4 速やかに遠心	1・2	冷蔵	4~6		CF法 (補体結合反応)	血清:4未満 髄液:1未満	倍 下記参照 (*CF法) ※02	
1225	ムンプスウイルス IgM 5F432-1432-023-023-33	血清 各0.6 または 髄液各0.7	1・2	冷蔵	3~4	② 219 免疫	EIA法	IgM:0.80未満 IgG:2.0 未満 判定基準:下記参照	髄液の測定も可能です 検体量各0.7mL (冷蔵) [髄液基準値] IgM 0.80未満陰性 IgG 0.20未満陰性 ※01	耳下腺炎 無菌性髄膜炎 肺炎 精巣炎 卵巣炎
1224	ムンプスウイルス IgG 5F432-1431-023-023-33									
3031	ムンプスウイルス 5F432-1430-023-111-05	血清0.2 または 髄液各0.4	1・2	冷蔵	4~6	① 79 免疫	HI法 (赤血球凝集抑制反応)	血清:8未満 髄液:1未満	倍 出発希釈 血清8倍 髄液1倍 ※02	麻疹 (はしか)
3042	ムンプスウイルス 5F432-1430-023-151-05						NT法 (中和反応)	血清:4未満 髄液:1未満	倍 下記参照 (*NT法) ※02	
3003	ムンプスウイルス 5F432-1430-023-141-05				血清0.3 または 髄液0.5 速やかに遠心	1・2	冷蔵	4~6	CF法 (補体結合反応)	
1222	麻疹ウイルス IgM 5F431-1432-023-023-01	血清 各0.6 または 髄液各0.7	1・2	冷蔵	3~4	② 219 免疫	EIA法	IgM:0.80未満 IgG:2.0 未満 判定基準:下記参照	髄液の測定も可能です 検体量各0.7mL (冷蔵) [髄液基準値] IgM 0.80未満陰性 IgG 0.20未満陰性 ※01	麻疹 (はしか)
1221	麻疹ウイルス IgG 5F431-1431-023-023-01									
3025	麻疹ウイルス 5F431-1430-023-111-05	血清0.2 または 髄液0.2	1・2	冷蔵	4~7	① 79 免疫	HI法 (赤血球凝集抑制反応)	血清:8未満 髄液:1未満	倍 出発希釈 血清8倍 髄液1倍 ※01	
3041	麻疹ウイルス 5F431-1430-023-151-05						NT法 (中和反応)	血清:4未満 髄液:1未満	倍 下記参照 (*NT法) ※01	

① ウイルス抗体価 (定性・半定量・定量) (76ページ参照)

② グロブリンクラス別ウイルス抗体価 (76ページ参照)

* CF法(補体結合反応): 補体結合反応におきましては抗補体作用がみられ、測定不能になる場合がありますので、抗凝固剤を入れずに採血して速やかに血清分離し冷蔵保存してください。

出発希釈 血清4倍 髄液1倍

* NT法(中和反応): 細菌繁殖などにより細胞が汚染され、測定不能になる場合がありますのでご注意ください。

出発希釈 血清4倍 髄液1倍

[1225,1224] ムンプスウイルス
[1222,1221] 麻疹ウイルス (血清) の判定基準

判定	IgM (抗体指数)	IgG (EIA価)
-	0.80未満	2.0未満
±	0.80~1.20	2.0~3.9
+	1.21以上	4.0以上



項目コード	検査項目	検体量 (mL)	容器	保存 (安定性)	所要日数	実施料判断料	検査方法	基準値(単位)	備考	検査目的および異常値を示す主な疾患名
抗体検査	3099 風疹ウイルス IgM 5F395-1432-023-023-33	血清各0.6 または 髄液各0.7	1・2	冷蔵	3~4	② 219 免疫	EIA法	IgM0.80未満(-) IgG2.0 未満(-) 判定基準:下記参照	髄液の測定も可能です 検体量各0.7mL (冷蔵) [髄液基準値] IgM 0.80未満陰性 IgG 0.20未満陰性	風疹(3日はしか)
	3098 風疹ウイルス IgG 5F395-1431-023-023-33									
	0329 風疹ウイルス 5F395-1430-023-111-05	血清0.2 または 髄液0.4	1・2	冷蔵	4~5	① 79 免疫	HI法 (赤血球凝集抑制反応)	血清:8未満 髄液:1未満	出発希釈 血清8倍 髄液1倍 ※01	
	1336 ヒトパルボウイルスB19 (パルボウイルスB19) 5F011-1432-023-023-33	血清 各0.6	1	冷蔵	3~5	②③ 219 免疫	EIA法	0.80未満陰性 判定基準:下記参照		伝染性紅斑 (リンゴ病) ※01
	1467 ヒトパルボウイルスB19 (パルボウイルスB19) IgG 5F011-1431-023-023-33									
	3094 水痘・帯状ヘルペス ウイルス(VZV) IgM 5F193-1432-023-023-33	血清 各0.6 または 髄液各0.7	1・2	冷蔵	3~4	② 219 免疫	EIA法	IgM0.80未満(-) IgG2.0 未満(-) 判定基準:下記参照	髄液の測定も可能です 検体量各0.7mL (冷蔵) [髄液基準値] IgM 0.80未満陰性 IgG 0.20未満陰性	水痘 帯状疱疹 ※01
	3093 水痘・帯状ヘルペス ウイルス(VZV) IgG 5F193-1431-023-023-33									
	3006 水痘・帯状ヘルペス ウイルス(VZV)	血清0.3 または 髄液0.5 速やかに遠心	1・2	冷蔵	4~6	① 79 免疫	CF法 (補体結合反応)	血清:4未満 髄液:1未満	倍 下記参照(*CF法) ※01	
4947	血清 0.2	1	冷蔵	4~7	IAHA法		2未満	倍 水痘ワクチン接種後の効果 判定に有用です。効果判定 に用いる場合は接種前およ び接種後4~6週間のヘア 血清でご提出ください。 ※01		

- ①ウイルス抗体価(定性・半定量・定量)(76ページ参照)
- ②グロブリンクラス別ウイルス抗体価(76ページ参照)
- ③ヒトパルボウイルスB19は、紅斑が出現している妊婦について、このウイルスによる感染症が強く疑われ、IgM型ウイルス抗体価を測定した場合に算定する。

*CF法(補体結合反応):補体結合反応におきましては抗補体作用がみられ、測定不能になる場合がありますので、抗凝固剤を入れずに採血して速やかに血清分離し冷蔵保存してください。
出発希釈 血清4倍 髄液1倍

[3099, 3098] 風疹ウイルス
[3094, 3093] 水痘・帯状ヘルペスウイルス (血清) の判定基準

判定	IgM (抗体指数)	IgG (EIA価)
-	0.80未満	2.0未満
±	0.80~1.20	2.0~3.9
+	1.21以上	4.0以上

[1336, 1467] ヒトパルボウイルスB19 (判定基準)

判定	抗体指数
-	0.80未満
±	0.80~0.99
+	1.00以上

1 プレイン容器



2 滅菌スピッツ



項目コード	検査項目	検体量 (mL)	容器	保存 (安定性)	所要 日数	実施料 判断料	検査方法	基準値(単位)	備 考	検査目的および異常値を示す主な疾患名
3097	単純ヘルペスウイルス (HSV) IgM 5F190-1432-023-023-00	血清 0.6	1				EIA法	0.80未満 (-) 判定基準:下記参照	髄液の測定も可能です 【髄液基準値】 IgM 0.80未満陰性 ※01	主病変部位 1型:上半身 2型:下半身(性器) ヘルペスウイルス性角結膜炎 歯肉口内炎 ヘルペスウイルス性湿疹 ヘルペス脳炎
3096	単純ヘルペスウイルス (HSV) IgG 5F190-1431-023-023-00	血清 0.6	1	冷蔵	3~4	219 免疫		2.0未満 (-) 判定基準:下記参照	※01	
1296	単純ヘルペスウイルス (HSV) (髄液) IgG 5F190-1431-041-023-00	髄液 0.7	2					0.20未満 (-) 判定基準:下記参照	※01	
3043	単純ヘルペスウイルス (HSV) 1型 5F191-1430-023-151-05	血清各0.2 または 髄液各0.4	1・2	冷蔵	7~13	79 免疫	NT法 (中和反応)	血清:4未満 髄液:1未満	倍 下記参照(*NT法) 1型,2型間には 抗原交差性が あります。 ※02	
3044	単純ヘルペスウイルス (HSV) 2型 5F192-1430-023-151-05									
3005	単純ヘルペスウイルス (HSV) 5F190-1430-023-141-05	血清0.3 または 髄液0.5 速やかに遠心	1・2	冷蔵	4~6		CF法 (補体結合反応)		下記参照(*CF法) ※01	
2550	ヒトヘルペスウイルス6型 IgM 5F210-1432-023-162-05	血清 各0.2	1	冷蔵	4~6		FA法 (蛍光抗体法)	10未満	倍 出発希釈 10倍 ※02	突発性発疹
2549	ヒトヘルペスウイルス6型 IgG 5F210-1431-023-162-05									
4071	サイトメガロウイルス (CMV) IgM 5F194-1432-023-023-33	血清各0.6	1	冷蔵	3~4	219 免疫	EIA法	IgM 0.80未満 (-) IgG 2.0 未満 (-) 判定基準:下記参照	髄液の測定も可能です 検体量各0.7mL(冷蔵) 【髄液基準値】 IgM 0.80未満陰性 IgG 0.20未満陰性 ※01	サイトメガロウイルス 感染症
3095	サイトメガロウイルス (CMV) IgG 5F194-1431-023-023-00									
3021	サイトメガロウイルス (CMV) 5F194-1430-023-141-05									

①ウイルス抗体価(定性・半定量・定量)(76ページ参照)

②グロブリンクラス別ウイルス抗体価(76ページ参照)

*CF法(補体結合反応):補体結合反応におきましては抗補体作用がみられ、測定不能になる場合がありますので、抗凝固剤を入れずに採血して速やかに血清分離し冷蔵保存してください。

出発希釈 血清4倍 髄液1倍

*NT法(中和反応):細菌繁殖などにより細胞が汚染され、測定不能になる場合がありますご注意ください。

出発希釈 血清4倍 髄液1倍

[3097]単純ヘルペスウイルスIgM [3096]単純ヘルペスウイルスIgG の判定基準

判定	IgM(抗体指数)	IgG(EIA価)	
		血清	髄液
-	0.80未満	2.0未満	0.20未満
±	0.80~1.20	2.0~3.9	0.20~0.39
+	1.21以上	4.0以上	0.40以上

[4071,3095]サイトメガロウイルス(血清)の判定基準

判定	IgM(抗体指数)	IgG(EIA価)
-	0.80未満	2.0未満
±	0.80~1.20	2.0~3.9
+	1.21以上	4.0以上



項目コード	検査項目	検体量 (mL)	容器	保存 (安定性)	所要日数	実施料判断料	検査方法	基準値(単位)	備考	検査目的および異常値を示す主な疾患名	
抗体検査	4801 EBV IgG抗体 <small>5F201-1431-023-023-01</small>	血清0.6	1	冷蔵	4~6	① 219 免疫	EIA法	判定基準:下記参照	判定結果とともにインデックス値を併記しますが、これはウイルス抗原に対する抗体の反応の強さを表します。 ※01	EBウイルス感染症 伝染性単核症 バーキットリンパ腫 上咽頭癌	
	4802 EBV IgM抗体 <small>5F201-1432-023-023-01</small>	血清0.6	1	冷蔵	4~6		EIA法	判定基準:下記参照			
	4792 EBウイルス 抗EA-IgG <small>5F203-1431-023-023-32</small>	血清0.2	1	冷蔵	3~5		EIA法	0.5未満 陰性 判定基準:下記参照	倍		
	4793 EBウイルス 抗VCA IgM <small>5F202-1432-023-023-32</small>	血清0.2	1	冷蔵	3~5		EIA法	0.5未満 陰性 判定基準:下記参照			
	4794 EBウイルス 抗VCA IgG <small>5F202-1431-023-023-32</small>	血清0.2	1	冷蔵	3~5		EIA法	0.5未満 陰性 判定基準:下記参照			
	4795 EBウイルス 抗EBNA IgG <small>5F204-1431-023-023-32</small>	血清0.2	1	冷蔵	3~5		EIA法	0.5未満 陰性 判定基準:下記参照	倍		※02
	3081 EBウイルス 抗EA-DR IgG <small>5F203-1431-023-162-05</small>	血清0.2	1	冷蔵	4~6		② 79 免疫	FA法 (蛍光抗体法)	10未満		倍 出発希釈 10倍
	3079 EBウイルス 抗VCA IgM <small>5F202-1432-023-162-05</small>	血清0.2	1	冷蔵	4~6			FA法 (蛍光抗体法)	10未満		
	3078 EBウイルス 抗VCA IgG <small>5F202-1431-023-162-05</small>	血清0.2	1	冷蔵	4~6			FA法 (蛍光抗体法)	10未満		
	3083 EBウイルス 抗EBNA <small>5F204-1430-023-162-05</small>	血清0.2	1	冷蔵	4~6			FA法 (蛍光抗体法)	10未満		
	3080 EBウイルス 抗VCA IgA <small>5F202-1433-023-162-05</small>	血清0.2	1	冷蔵	4~6		FA法 (蛍光抗体法)	10未満	倍		
	3082 EBウイルス 抗EA-DR IgA <small>5F203-1433-023-162-05</small>	血清0.2	1	冷蔵	4~6		FA法 (蛍光抗体法)	10未満	倍		※02

①グロブリンクラス別ウイルス抗体価 (76ページ参照)

②ウイルス抗体価 (定性・半定量・定量) (76ページ参照)

[4801]EBV-IgG (EIA法)、[4802]EBV-IgM (EIA法) の判定基準

判定	インデックス値	
	G index (GI)	M index (MI)
(-)	1.0未満	1.0未満
(±)	1.0~2.0	
(+)	2.1以上	1.0以上

[4792~4795]EBウイルス (EIA法) の判定基準

判定	抗体指数
(-)	0.5未満
(±)	0.5~0.9
(+)	1.0以上



項目コード	検査項目	検体量 (mL)	容器	保存 (安定性)	所要日数	実施料	検査方法	提出条件・備考
分離・同定	5341 ウイルス分離 6B655-0000-099-748-49	下記参照	33	冷蔵	5~22		細胞変性効果、血球吸着現象、赤血球凝集反応	凍結保存は避けてください。分離、同定検査は以下の細胞を使用しています。PHf1b (ヒト繊維芽細胞)、HEp-2 (ヒト喉頭癌細胞)、Vero (ミドリザル腎細胞)、MA104 (アカモザル腎細胞)、RD-18S (ヒト横紋筋腫細胞)、MDCK (イヌ腎細胞)、B95a (マーモセットB細胞)、AGMK (アフリカミドリザル腎細胞)、A549 (ヒト肺癌細胞)、Caco-2 (ヒト結腸癌細胞) ※02
	5342 ウイルス同定 6B705-0000-099-748-49	※1参照	33	冷蔵	14~30		標準抗血清による中和反応・免疫蛍光抗体法・赤血球凝集抑制反応	

<検査材料>

ウイルス分離・同定検査を実施するためには適切な分離用検査材料と、同時に発病後できるだけ早期に採取することが大切です。ウイルス分離材料の選択は、分離率向上のため、できる限り複数の材料をご提出ください。

臨床症状	分離可能ウイルス	主要検査材料
上気道感染症	ライノ、パラインフルエンザ	咽頭ぬぐい液、鼻分泌液
	アデノ、コクサッキー、エコー	咽頭ぬぐい液、糞便
下気道感染症	インフルエンザ、パラインフルエンザ、アデノ、RS、サイトメガロ	咽頭ぬぐい液、喀痰、気管支洗浄液
紅斑性発疹症	麻疹、風疹	咽頭ぬぐい液
	エコー、コクサッキー	咽頭ぬぐい液、糞便
水疱性発疹症	単純ヘルペス、水痘・帯状ヘルペス	水疱内容
	コクサッキー、エンテロ71	水疱内容、咽頭ぬぐい液、糞便
中枢神経系疾患	エコー、コクサッキー、ポリオ	咽頭ぬぐい液、髄液、糞便
	水痘・帯状ヘルペス、ムンプス	咽頭ぬぐい液、髄液
先天性異常	サイトメガロ、風疹	咽頭ぬぐい液、尿、髄液
	単純ヘルペス、水痘・帯状ヘルペス	水疱内容
嘔吐・下痢症	エコー、コクサッキー、アデノ	咽頭ぬぐい液、糞便
	ロタ	糞便
出血性膀胱炎	アデノ	尿
耳下腺炎	ムンプス	咽頭ぬぐい液
眼疾患	アデノ、単純ヘルペス、水痘帯状ヘルペス	結膜ぬぐい液

<検体採取および保存方法>

検査材料	ウイルス専用容器への採取方法
患部ぬぐい液・水疱内容・糞便 等	滅菌綿棒でぬぐい、下図の採取方法でウイルス専用保存液に採取し、冷蔵保存してください。
尿・髄液・胸水・鼻汁 等	下図の採取方法でウイルス専用保存液と等量の検体を採取し、冷蔵保存してください。
組織	組織小片 (5mm角程度) をウイルス専用保存液に入れ冷蔵保存してください。

※1 同定検査は委託先の分離検査において分離された検体のみの受付となります。ご依頼の際は専用依頼書を使用し、ウイルス分離報告書に明記してあります。「受付月日」「検体NO.」「TCNO.」を所定欄に必ずご記入の上、依頼書のみご提出下さい。

●ウイルス専用保存液は当社にて準備しておりますので、ご依頼前に営業担当員にお申し付けください。

管壁でよく擦ります

綿棒は抜き取ってください

きちんとキャップを締めて冷蔵保存し提出してください

ウイルス専用保存液

便 数回突き刺します

表面を転がします

液状検体 (尿等) は、ウイルス専用保存液と等量混合してください。検体量が保存液より少ない場合、保存液は捨てずに、そのままご提出可能な量の検体を入れてください。

きちんとキャップを締めて冷蔵保存し提出してください

2.5mL

2.5mL

